

年度	2019年度（平成31年度）		
科目	電気実習 C 【実習形式】		
担当	土屋 俊雄	使用教室	11・12教室
実務経験	30年以上にわたる電気機器・電気設備工事・の現場施工実務の経験を生かし、理論と技術の両面からノウハウを交えた指導を行う。 （第一種電気工事士・第三種電気主任技術者・施工管理技士等の資格による）		
種別	✓前期		
到達目標	電気工作物の動作を理解し、接地抵抗や基本特性の測定に加えて、金属管工事やケーブル工事の適切な施工が行える。		
資格実施月	2019年9月		
評価方法	定期試験、実技課題作成、レポート・課題提出		
教科書等	電気工事士教科書・第二種電気工事士らくらく学べる 電気工事士国家試験公表問題および既出問題・自主教材		
内容	<p>電気工事士国家試験の公開問題や各種施工方法の複線図作成・ボード取り付け実習・通電検査・評価などを通じた、各種の電気設備施工技術の習得と、電気保安のための計測技術の実際を学ぶ。</p> <p>第1週から第2週 ケーブル工事とダクト工事</p> <p>第3週から第4週 金属管の切断・曲げ加工、スイッチボックス等組立て・造営材取付け</p> <p>第5週から第6週 実習金属管工事と合成樹脂管工事・線び工事</p> <p>第7週から第8週 碍子引き工事・バインド掛け・分岐・引き込み口、貫通部工事</p> <p>第9週から第10週 シーケンス制御と PLC</p> <p>第10週から第12週 その他の建築設備の概要と施工実例</p> <p>第13週から第14週 接地工事および電圧電流電力の測定、絶縁抵抗測定</p> <p>第15週から第16週 一般電気工作物の保安に関する法律による測定とデータの評価</p> <p>第17週から第19週 これまで学んだ内容の演習と実習課題の作成</p> <p>その他 授業の中で、実際の電気設備等の見学を現地学習として織り交ぜて効果的な理解を促す。 必要に応じて、基礎を復習し理解を深めるための電気工学実験を織り交ぜた実習を行う。</p>		